

平成 2 9 度 県立 藤 沢 清 流 高 等 学 校 社 会 人 聴 講 生 募 集 科 目 一 覧

1 募 集 す る 科 目

| 科目 番号 | 課 程 | 教 科 | 科 目 | 授 業 曜 日 ・ 校 時 | 募 集 人 数 | 聴 講 期 間 (予 定) |
|----------|-------|------------|----------------------------|------------------------------------|-------------|--------------------|
| 1 | 全 日 制 | 保 健 体 育 | 気 功 | 毎 週 火 曜 日 1 校 時 毎 週 火 曜 日 2 校 時 | 2 ~ 3 人 程 度 | 通 年 |
| 2 | 全 日 制 | 保 健 体 育 | ス ポ ー ツ (バ ド ミ ン ト ン) | 毎 週 水 曜 日 3 校 時 | 10 人 程 度 | 通 年 |
| 3 | 全 日 制 | 芸 術 | 弦 楽 器 (ヴ ァ イ オ リ ン) | 毎 週 月 曜 日 2 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 4 | 全 日 制 | 芸 術 | 陶 芸 | 毎 週 木 曜 日 1 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 5 | 全 日 制 | 芸 術 | 陶 芸 実 践 | 毎 週 月 曜 日 3 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 6 | 全 日 制 | 芸 術 | 映 像 表 現 | 毎 週 水 曜 日 3 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 7 | 全 日 制 | 芸 術 | 映 像 表 現 実 践 | 毎 週 水 曜 日 3 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 8 | 全 日 制 | 芸 術 | 素 描 | 毎 週 水 曜 日 4 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 9 | 全 日 制 | 芸 術 | 素 描 実 践 | 毎 週 水 曜 日 4 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 1 0 | 全 日 制 | 芸 術 | 書 道 | 毎 週 火 曜 日 2 校 時 毎 週 水 曜 日 2 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 1 1 | 全 日 制 | 芸 術 | 書 道 | 毎 週 水 曜 日 3 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 1 2 | 全 日 制 | 芸 術 | 書 道 | 毎 週 水 曜 日 4 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |
| 1 3 | 全 日 制 | 外 国 語 | ス ペ イ ン 語 と 文 化 | 毎 週 木 曜 日 1 校 時 | 1 ~ 2 人 | 通 年 |
| 1 4 | 全 日 制 | 総 合 | 演 劇 入 門 | 毎 週 水 曜 日 4 校 時 | 1 ~ 2 人 | 通 年 |
| 1 5 | 全 日 制 | 総 合 | 湘 南 の 自 然 | 毎 週 金 曜 日 3 校 時 | 3 人 | 通 年 |
| 1 6 | 全 日 制 | 総 合 | 美 術 館 学 入 門 | 毎 週 金 曜 日 3 校 時 | 若 干 名 | 通 年 |

2 授業時間区分 (90分授業です。)

| | |
|-----|-------------|
| 1校時 | 9:00～10:30 |
| 2校時 | 10:45～12:15 |
| 昼休み | 12:15～13:00 |
| 3校時 | 13:00～14:30 |
| 4校時 | 14:45～16:15 |

3 募集期間 平成29年3月9日～平成29年3月24日

4 科目の内容

1.

| | |
|------|--|
| 科目名 | 気功 |
| 科目内容 | 中国古来の心身の健康法で、呼吸法を中心に静功・動功・意念の基礎を正しく学ぶ。併せて、身体および諸器官のバランスをとる運動を行う。 |
| 目 標 | 気の本質を学び、身体感覚を深め、心と体の両面から「気力の充実」を図る。基本的な「調身、調息、調心」を学び、生涯役に立つ健康法を身につける。 |
| 授業計画 | ア 気功の基礎知識、気の場合作りと気の観察、春の季節の気を養い、基本功呼吸法と呼吸の観察、錬気法、秋の季節の保健功 イ 気功の応用理論、気の質と量の観察、秋の季節の保健功、ストレスリダクション、養気法、峨眉法済功、行功 |

2.

| | |
|------|---|
| 科目名 | スポーツ (バドミントン) |
| 科目内容 | 競技としてのバドミントンを楽しみ、スキルを高める。 |
| 目 標 | バドミントン競技に必要な個々の技量を高め、より高いレベルでバドミントンを楽しめるようにする。 |
| 授業計画 | ルールやマナー、基礎体力づくり、競技に必要な動き作り、技能の向上(フットワークや基礎フライト)、インフォメーション、ゲーム練習 |

3.

| | |
|------|--|
| 科目名 | 弦楽器(ヴァイオリン) |
| 科目内容 | 全くの初心者のヴァイオリン授業です。持ち方、音の鳴らし方から始まり、クラシック曲、ポップス曲をまじえて練習します。 |
| 目 標 | 器楽の演奏に関する知識や技術を習得させ、音楽性豊かな表現の能力を養う。 |
| 授業計画 | ア 基礎となる練習を毎回積み重ね、少しずつ曲数を増やしていく。 イ グループ別にパート練習をし、合奏を楽しむ。 |

4.

| | |
|------|--|
| 科目名 | 陶芸 |
| 科目内容 | 作品制作と作品鑑賞を主体に授業を行う。 |
| 目 標 | 陶芸の芸術性や社会に果たす役割についての理解を深め、陶芸の技術と鑑賞の能力を高める。 |
| 授業計画 | 基本の手びねり成型を、あら練り・菊練り等、制作の準備から学び、釉かけ・絵付けも行い作品制作をおこなう。また、電動ろくろ成型の基礎も学ぶ。作品鑑賞を行い、可能であれば作品をギャラリーで展示する。 |

5 .

| | |
|------|---|
| 科目名 | 陶芸実践 |
| 科目内容 | 作品制作と作品鑑賞を主体に授業を行う。 |
| 目 標 | 陶芸の芸術性や社会に果たす役割についての理解をさらに深め、陶芸の技術と鑑賞の能力を高める。 |
| 授業計画 | 「陶芸」の履修を経て、さらに陶芸の技術を高め、発展的な作品制作に取り組む。また、形成の応用や、電動ろくろ成の大きさや難易度をあげた作品制作に挑戦し、自身の感性を生かした作品制作を行う。 可能であれば、作品をギャラリーで展示する。 |

6 .

| | |
|------|--|
| 科目名 | 映像表現 |
| 科目内容 | 映像表現を通して感性や能力を高めると同時に、個性豊かな映像を制作する。 |
| 目 標 | 写真・ビデオ・コンピュータ等映像機器による動画表現を通して、映像表現が芸術や社会に果たす役割について理解を深め、動画による表現と鑑賞の能力を高める。 |
| 授業計画 | 動画作品鑑賞や映像作品を通し、カメラ操作やコンピュータによる編集を習得する。また、作品発表、映像作品制作も行う。 |

7 .

| | |
|------|---|
| 科目名 | 映像表現実践 |
| 科目内容 | 映像表現実践を通して感性や能力を高めると同時に、個性豊かな映像を制作する。 |
| 目 標 | 「映像表現」の履修を経て、発展的な写真・ビデオ・コンピュータ等映像機器による動画表現に挑戦し、映像表現が芸術や社会に果たす役割についてさらなる理解を深め、動画による表現と鑑賞の能力をより一層高める。 |
| 授業計画 | 映像作品鑑賞やディスカッションを行う。 映像作品制作を通して、カメラ操作やコンピュータによる編集を習得する。また、作品発表も行う。 |

8 .

| | |
|------|---|
| 科目名 | 素描 |
| 科目内容 | 造形表現の基礎となる観察力、空間把握力をつけ、形体や空間などの的確な表現を学ぶ。 |
| 目 標 | 鉛筆や木炭などの画材に親しみ、静物デッサン、人物クロッキー等を通して、基礎技術を学ぶ。 |
| 授業計画 | 静物デッサン、人物クロッキーを行い、デッサンの基礎力や、観察力、空間把握力を向上させる。また作品の相互鑑賞を行う。 |

9 .

| | |
|------|---|
| 科目名 | 素描実践 |
| 科目内容 | 造形表現の基礎となる観察力、空間把握力をつけ、形体や空間などの的確な表現を学ぶ。 |
| 目 標 | 美術大学入試で出題されるよ鉛筆や木炭による石膏デッサンや静物デッサンを行い、受験に耐えられる高度な技術を学ぶ。 |
| 授業計画 | 石膏デッサン、静物デッサン、人物クロッキーを行い観察力、空間把握力を向上させる。また作品の相互鑑賞を行う。 |

10.

| | |
|------|---|
| 科目名 | 書道 |
| 科目内容 | 楷書、行書、漢字仮名交じりの書を工夫して美しく表現できるようにする。また、仮名の基本、篆刻も扱う。 |
| 目 標 | 書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。 |
| 授業計画 | 4月～7月：楷書、9月～10月：行書、11月～12月：篆刻、 1月～3月：仮名および漢字仮名交じりの書 |

11.

| | |
|------|---|
| 科目名 | 書道 |
| 科目内容 | 漢字の書については、楷書、行書、草書、隸書及び篆書を学習する。その他、仮名の書、漢字仮名交じりの書、篆刻も扱う。 |
| 目 標 | 書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、個性的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。 |
| 授業計画 | 4月～7月：仮名及び漢字の臨書 9月～12月：篆書、隸書、篆刻（朱文） 1月～3月：半切作品創作 |

12.

| | |
|------|---|
| 科目名 | 書道 |
| 科目内容 | 受講生の特性を考慮し、臨書及び創作をおこなう。「暮らしのなかの書」として漢字仮名交じり文を学習する。 |
| 目 標 | 書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。 |
| 授業計画 | 4月～7月：臨書作品 9月～11月：創作作品 12月：漢字仮名交じりの書 |

13.

| | |
|------|---|
| 科目名 | スペイン語と文化 |
| 科目内容 | スペイン語の会話、文法、短い文章の書き方、スペイン語圏の文化等を学ぶ。 |
| 目 標 | 話し手や書き手の意向をスペイン語で理解すると同時に、自分をスペイン語で表現できる基礎的な能力を養う。また、スペイン語圏の文化を理解する。 |
| 授業計画 | スペイン語の会話（あいさつ、自己紹介を中心に会話の練習を行います。） スペイン語の文法（会話に必要な最低限の文法を学習します。文法が不得意な人も心配はいりません。） スペイン語の作文（手紙程度の短い文章や、会話練習のための原稿をつくります。） スペイン語の文化（スペインのみならず、南アメリカ、中央アメリカなど、スペイン語圏の文化、歴史を勉強します。） |

14.

| | |
|------|--|
| 科目名 | 演劇入門 |
| 科目内容 | 朗読・発声法・身体表現・大道具・小道具・音響・照明など舞台技術の基礎を劇の発表を前提として学ぶ。 |
| 目 標 | 演劇を通じて、感情や意志を表現する喜びを知る。演劇を通して、協働作業の組織化を学び、ものの見方を深める。 |
| 授業計画 | 一つの脚本を決めてテキストとし、そのテキストをもとにして朗読、発声、身体表現、発表をおこなう。前期は朗読や劇の構成などを学び、後期に発表に向けて集中的な立ち稽古をおこなう。 |

15.

| | |
|------|--|
| 科目名 | 湘南の自然 |
| 科目内容 | 湘南地方の自然を学ぶ。 |
| 目 標 | 見過ごしがちな足許の自然を見つめなおし、自然についての理解を深める。 |
| 授業計画 | 校内・校外周辺の自然観察（植物・野鳥） 畑づくり 土日祝日、長期休業中に校外学習を予定（海浜緑化ボランティア、野鳥観察、江の島等） |

16

| | |
|------|---|
| 科目名 | 美術館学入門 |
| 科目内容 | 美術作品の鑑賞及び講義、さらに年数回美術館等に行き、作品鑑賞や学芸員より美術館運営などについての講義を聴講。なお絵画や工芸等の創作は行わない。 |
| 目 標 | 美術の鑑賞、及び美術館、博物館との連携授業を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てる。 |
| 授業計画 | 美術作品の鑑賞・美術館での作品鑑賞や美術館運営に関する学習、また美術館内での美術作品説明発表を行います。 |

4 聴講にかかる費用

(1) 聴講料

1単位あたり、4,800円です（県の条例により、募集する課程ごとに定められた金額です。）

聴講科目ごとの聴講料

| 科目番号 | 科目 | 単位数 | 聴講料 |
|------|--------------|-----|--------|
| 1 | 気功 | 2 | 9,600円 |
| 2 | スポーツ（バドミントン） | 2 | 9,600円 |
| 3 | 弦楽器（ヴァイオリン） | 2 | 9,600円 |
| 4 | 陶芸 | 2 | 9,600円 |
| 5 | 陶芸実践 | 2 | 9,600円 |
| 6 | 映像表現 | 2 | 9,600円 |
| 7 | 映像表現実践 | 2 | 9,600円 |
| 8 | 素描 | 2 | 9,600円 |
| 9 | 素描実践 | 2 | 9,600円 |
| 10 | 書道 | 2 | 9,600円 |
| 11 | 書道 | 2 | 9,600円 |

| | | | |
|-----|----------|---|---------|
| 1 2 | 書道 | 2 | 9,600 円 |
| 1 3 | スペイン語と文化 | 2 | 9,600 円 |
| 1 4 | 演劇入門 | 2 | 9,600 円 |
| 1 5 | 湘南の自然 | 2 | 9,600 円 |
| 1 6 | 美術館学入門 | 2 | 9,600 円 |

開講する科目は、一括払いとなります。なおテキスト代や教材費、美術館への交通費等、別額費用がかかる科目があります。

(2) その他費用

聴講証明書が必要な場合には、「県立学校の証明書交付手数料の徴収に関する条例」(昭和 30 年神奈川県条例第 12 号)に基づき、手数料一通 400 円を徴収します。

本校で初めて聴講の申込をされる方は、神奈川県在住か神奈川県在勤の証明できるものを持参してください。